

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	現在の理念が法人(事業所)としての理念になっている	グループホームとしての『理念』を再検討する	外部評価を受けた直後の職員会議において、理念の見直しについて職員全員で話し合いを行ったが、具体的な結論に達していないことから、今後更に話し合いを重ねながら具体化していく	6ヶ月
2	IV	自分自身のやり方で介護している職員や、分からなくても今更他人に聞けないと思って介護している職員がいるかもしれないことから、マニュアルに沿った正しい介護の仕方を再確認することで、自分自身の介護の仕方を振り返ったり気づいたりすることができるのではないかと思う	職員自身の日常業務に対する自己評価の実施	各日常業務毎のマニュアルを作成し、職員一人ひとりにマニュアルに沿ってやっているか否かをチェックしてもらうことで、自分自身の介護の仕方を振り返っていただき、介護技術のレベルアップに繋げていく	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。